

# 安倍政治は許さない

## 全国高齢者大会が閉会

和歌山市でおこなわれていた第29回日本高齢者大会（同実行委員会主催）は16日、全体会を開き、「戦争と戦後の体験を語り、戦争法案反対の世論を広げる。年金、医療、介護

などの要求実現運動に取り組む」とした決議を採択し、閉会しました。のべ5100人が参加しました。

全体会では、和歌山実行委員会の中谷吉治会長が戦争か平和かの



「安倍政治は許さない運動を広げて来年東京で再会しよう」とアピール  
東京の代表ら11日、和歌山市内

9/17  
五旗

激動する情勢のなかで開かれているとして、「戦争を知る高齢者が平和のメッセンジャーです。大会を平和と民主主義を守る決起の場にししよう」とあいさつしました。

某調報告した鐘ヶ江正志事務局長は、国民の声を無視した安倍政権による「戦争する国づくり」と社会保障改悪をストップさせることなどが、貧困と格差是正になると強調。「殺し殺される世界ではなく、平和のバトンを子どもたちに渡そう」と呼びかけました。

各地の報告では、「安倍政権の『原発再稼働・フクシマ切り捨て』をはね返します」（福島）、「沖繩と日本の未来を開くため、全国と連携して辺野古新基地建設反対を訴えます」（沖繩）と発言すると、大きな拍手が送られました。

立命館大学名誉教授の安斎青郎さんが講演しました。

来賓あいさつした日本共産党の宮本徹衆院議員は、戦争法案を成立させようとする与党を批判し、「緊迫する国会に向けてとんぼがえりします」と結びました。

和歌山市から参加した女性（67）は「歴史的な大会でした。戦争法案にも社会保障改悪にも老人パワーを発揮してたたかいます」と話しました。

来年は、8月28、29の両日、東京都で開催します。